

シルバー 安全だより

第35号

平成19年8月1日

(社)日向市シルバー人材センター
安全管理委員会

—無事故で行こう!意欲をもって—

皆様、毎日安全就業大変お疲れ様です。体調は如何でしょうか。月日の流れも早いものでお盆の時期を迎えました。

『役者には年なし』との諺があります。その言葉の通り、会員の皆様はまだまだ若くて健康な方ばかりだと思います。

私共も安全パトロールの度に『安全就業で頑張ってください』と巡回いたしておりますが、顧みるに昨年は傷害事故2件、物損事故6件の発生件数でした。

今年度は現在まで物損事故1件発生しております。これは皆様方が安全就業に自ら取り組んだ成果の表れだと思います。

しかし人間には見落とし・錯覚・記憶違い・物忘れ等があります。つまり自己確認、指差呼称を行うことによって錯覚現象等に気付くことも可能です。



安全管理委員長
藤田辰巳

最近、交通事故多発の傾向にあります。「安全就業とは一旦家を出て仕事を無事に終え家に帰り着くまで」といつも申し上げておりますが、就業途上の交通事故には十分注意し事故に遭わないよう又事故を起こさないように心掛けて下さい。

暑い日々が続きます。常に健康の維持管理に努め又明日から事故0を目指して頑張りましょう。更に皆さんの安全標語・川柳の多数応募をお持ちしております。

安全パトロール 5/31(木)・6/7(木)・7/10(火) 実施



本日の安全3則唱和



作業服バッチリ!

事故がなければ安全といえるでしょうか。

事故が起こっていても、危険要因を放置しておく、いつ事故が発生するとも限りません。事故ゼロを目指し、事故につながるリスク(危険)の低減を図ることを意識したパトロールに努めています。今回の巡回ですべての就業先で安全意識が向上しているのがはっきりと感じられました。

安全の確保は、一般的に「安全な行動」のみが強調されますが、その前に「安全な状態」を確保し、「安全な作業方法」を確立することが大事です。危険な部分は見逃さないようにし、熱中症対策もしっかりとし、健康管理・安全就業に努めましょう。



黒木喜八郎
副委員長

平成19年度 月別実施重点事項

月	実施重点事項	努力事項
8月	回転体器具類に於ける事故防止(保護具着用の徹底)	①防護ネットで飛散防止を確実に ②回転体使用は周囲を確認 ③こまめに水分補給で熱中症予防
9月	家を出て帰るまでが安全就業	①いそがず、あせらず、ゆとりをもって ②自転車荷台(ハンドル前)には重いものは乗せない ③規則正しい食事、睡眠で疲れを残さない

1	H 14
---	---------

仕事の
草刈

事故

会員
事故や
何のた
いうこと
金の支
はなく、
ことが重

会員
は終了
て仕事
です。

「安
がその
織をつ
せん。全
い、事故
につけ
必要とな
員が一
時実行

安全 ミー

※就業

シルバ
上下の
リーダー

会員1
会員2
会員3
リーダー

体調
万全

1 物損事故が発生！！

事故発生状況

発生日時	場所	原因
7.21(土) 0	東郷町・地域 自治センター	草刈作業中、石をはね駐車していた車の助手席ドアガラス破損

その防止対策

事故の内容	防止対策
石をはねて駐車中の車の助手席ドアガラス破損	1.周囲の確認を徹底する。 2.駐車中の車を移動してもらう。 3.防護ネット(ベニヤ)を使用する。

防止に取り組む心構え

なって就業しても傷害障害を受けては、の就業であったかとなります。傷害保険い解決するもので故を未然に防止するです。



知識英明委員

センターから提供された仕事を完成あるまでの間、最も留意することは、「責任をもつ遂行すること」とともに「安全に就業すること」

就業」については、センター関係者のすべて要性を理解したから、あるいは安全対策の組たからといって、それで十分であるとはいえま員は安全作業についての自己管理能力を養から自分を守るために必要な知識・技能を身れらを就業の過程において発揮することがます。しかも、それらは工作中ばかりでなく、会家を出たときから、無事に家に帰り着くまで常るべきです。

「自分が自分を守る」運動の推進



鶴田君子委員

一般の高齢者が働く動機の第一は経済的理由ですが、シルバー人材センター会員の入会動機の第一は「健康」にあると思います。そのためもあってセンターは、安全対策を最優先課題として進めています。残念なことに昨年は重篤事故が起きてしまいました。信念を持ち就業してほしいと思います。

私たち安全管理委員会も安全管理体制を強化することはもちろんのことですが、健康診断受診の徹底や日常的な健康管理、体力づくりなどで、「自分が自分を守る」運動を推進することが大事だと思います。

うつ病を防ぐには

最近、うつ病になる人が増えています。うつになると何もする気が起きないのはもちろん、外にも出ないという悪循環に陥ります。



特に高齢者はボケにつながりやすく、うつを排する考えをすることはボケのない脳を作るためにも大変大事なことです。

うつを感情の病に例えると、「気分が晴れない、くよくよ悩む、やる気がない、将来が不安」といった考えがあるのですが、ときどき旅行に出たり、仕事や趣味にのめり込んだり、あるいは気持ちを打ち明けることのできる友人を作ってみるのもいいと思います。

陽射しを浴びて体を動かせば自然と幸福感が湧いてくるのです。脳あつての人生。自覚して前向きに楽しい日々を過ごしましょう。

がんばれ！おなま 5



自己管理 会員自身(グループ)が各作業基準をつくろう!!

開始前ミーティング

は共働・共助で働く同じ仲間、係ではない。

朝の挨拶、皆の健康状態の確認、準備運動、

1日のスケジュール、残滓処理

仕事の段取り・進め方・安全作業間隔

作業最適服装・ヘルメット・保護メガネ・履物・手袋

車輛、機械、機具類点検

安全に仕事開始の合図

※終業時ミーティング

仕事の安全点検、見落としは手入れする

1. 道具類の回収点検 (道具類には名前記入)
2. 機器類の燃料キャップ締め付け
3. トラック等の荷造り収納はよいか
4. 明日の仕事の確認段取り
5. 帰りは、急ぐとも一旦停止で安全運転

理は
すか?

- ① 気力は充実していますか?
- ② 前夜はよく眠れましたか?
- ③ 健康診断は受けていますか?

安全標語・川柳募集中

※沢山の応募を待っています。